

山行名	焼岳 # [2,455m/長野県・岐阜県]
実施日	2018年8月12日[日] 日帰り マイカー利用
天候/参加人員	天候:曇り時々晴れ レベル:★★☆ 参加者:申込9名/実施9名(男性5名/女性4名)
パーティスタッフ	省略
参加メンバ	省略
費用 ¥8,700/人 カンパ金:¥400	マイカー使用料:@10*520km*2台=¥10,400、ガソリン代:@140*520km÷5km/ℓ+@140*520km÷8km/ℓ=¥23,600、ドライバ謝礼:(@5,000+早朝加算@2,400)*2台=¥14,800、高速道路代(圏央厚木IC~松本IC):(往路@3,470+復路@4,950)*2台=¥16,840、ジャンボタクシー代(上高地BST~焼岳登山口): ¥5,960、入湯料(中ノ湯温泉):@700*9名=¥6,300、予備費:¥400 合計:¥78,300 ⇒ 一人当たり:¥8,700
歩行/行動時間	歩行時間(計画/実行/ガイドブック)=6:30/6:00/6:05、行動時間(計画/実行)=8:10/8:10
コースタイム	
朝食 中央自動車道	
厚木市内各所ピックアップ===圏央厚木IC===双葉SA===松本IC===焼岳登山口(中の湯側)-----	
2:30 出発	3:45-4:20 5:20 6:25-6:50
2:35(休5'*6回) 10'	5' 1:10(小休10') 昼食 1:30(小休10'*2+5'*2) 30'(小休10')
-----北峰分岐-----	-----焼岳北峰-----北峰分岐-----焼岳小屋-----峠沢-----焼岳登山口(上高地側)-----
9:55-10:00	10:10-20 10:25-30 11:50-12:20 14:20
タクシー	
上高地BST===焼岳登山口(中の湯側)===中ノ湯温泉===松本IC===諏訪SA===圏央厚木IC===本厚木	
15:00-16:30	17:10-20 17:30-18:45 23:00頃
コースの概要、特記事項、反省事項等	
【コースの概要】	
<ul style="list-style-type: none"> ・山頂直下では、岩肌を鮮やかな硫黄色に染めながら噴煙を上げており、活火山であることを実感できた。 ・北峰山頂到着時には、それまでガスがかかっていたのに急に晴れて、ここまで登ってきた急峻な岩場や、立入りが禁止されている最高峰の南峰を見通すことができた。快晴であれば、槍ヶ岳、西穂その先には奥穂が連なっているパノラマビューを堪能できるはずであったが、残念ながら雲で視界を閉ざされていた。 ・山頂から中尾根の間は急峻な下りで岩稜帯となるが、これから行く緑色の屋根の焼岳小屋とそこまでの尾根道がきれいに遠望できる。この岩稜帯は日光を遮るものが何もなく、炎天下であれば暑さによる疲労はまぬかれないところであったが、ほどよく曇って直射日光が射さなかったのは幸いであった。 ・中尾峠の先にある“展望台”から振り返ると、迫りくる景観を堪能できた。焼岳の北側の岩稜斜面は俯瞰してよし見上げてよし、何といっても今回のハイライトであった。 ・焼岳小屋から上高地に向かってしばらく行った先に、ほぼ垂直な梯子が大きなものだけでも5ヶ所ほど、またクサリ(ロープ)場も3ヶ所ほどあり、慎重に歩を進める必要があった。 ・焼岳は、麓は自然豊かな森の中だが、そこを抜けると活火山ならではの荒涼とした岩場や荒々しい山の姿を見ることができ、山の生きている姿を実感できる素晴らしい山であった。 	
【特記事項】	
<ul style="list-style-type: none"> ・北アルプスの日帰りは多少強行日程ではあるが、マイカー利用で旧盆期の長期休暇に合わせて設定したことによって、天候不順に遭遇した場合には順延とすることで、実施の確率を飛躍的に向上させる狙いで計画したが、今回はその恩恵を發揮することなく、オリジナル日程で実施する結果となった。 ・上高地バスセンタに下山後、車を残置した登山口までタクシーで戻る計画であり、事前に予約を入れたが「次々にタクシーが来るので、それに乗って欲しい」旨のコメントであった。実際にタクシー待ちで長蛇の列ができていて、予約を受付けてくれなかった理由が理解できた。人気スポット上高地の賑わいは想像以上であった。 ・中ノ湯温泉旅館でサッパリと汗を流したが、きれいな温泉宿でお値段もリーズナブルであり、お薦めである。 	
【反省事項等】	
<ul style="list-style-type: none"> ・8/12[日]は旧盆期に差し掛かるためかネット上では「高速道路代は通常料金が適用される」との情報が流されており、計画に織込んだ。ところが往路は割引料金が適用され不思議(?)に感じたが、復路も同様と考えて織込んだところ、今度は通常料金が適用されてしまった。この時期の高速道路割引料金については、より慎重に確認しなければならなかったと感じた。 	
--以上--	